

多職種紹介リレー

多職種紹介リレーは、地域の専門職の方々にリレー形式で自己紹介をいただいています。

皆様はじめまして。ひまわり薬局薬剤師の山口貴史さんよりご紹介いただきました、ハートケアグループ メディケア・リハビリ訪問看護ステーション松阪 兼 デイセンターリハビリプラザなでこで理学療法士として勤務しており、先日、氏郷まつりの蒲生氏郷公役に応募し、惜しくも落選した玉置透馬と申します。

来年こそは選ばれるよう、氏郷公の精神を胸に、松阪の元気と魅力を少しでも広く発信していきたいと思っています。ハートケアグループは、関西を拠点に訪問看護、通所介護、こども療育事業などを展開しており、現在は約950名の職員が在籍しています。



私はもともと京都府城陽市で勤務していましたが、出身地である三重県にこれまでの経験を還元したいという思いから、2021年4月に同グループとして初めて三重県へ訪問看護事業所を開設しました。訪問看護に携わり、来年度で10年目になります。まだまだ学ぶことは多いですが、「松阪を盛り上げたい」という気持ちは人一倍強く持っています。現在は、松阪多気地区地域リハビリテーション連絡協議会の理事やTMネットワークとしても活動し、リハビリの視点から地域や多職種のつながりを広げたいと考えています。

現在の趣味は読書です。子どもの頃は本が苦手でしたが、最近は興味のある分野の本を読んでいると、あっという間に時間が過ぎてしまいます。本を通して、これまで経験したことのない考え方に触れることで、行き詰まっていたことが前向きに動き出す感覚を得ています。

2026年度の目的は「つながりを広げる」、目標は「毎月5名以上の多職種の方と名刺交換をする」ことです。ぜひ気軽にお声がけください。皆様との出会いを楽しみにしています。



12走目の玉置さんからバトンを受け取っていただいた方を次号で紹介いたします。お楽しみに！

わおん

多 職 種



No. 15
2026 3発行

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点

第23回 多職種勉強会

今回は「在宅要介護者への災害支援」をテーマに勉強会を開催し、114組の方々にご参加いただきました。

話題提供は「災害が発生したとき私たちは…」という内容で3名の方から発表いただきました。リングの会(一人ケアマネ有志の会)から伊藤準康氏、三重県介護支援専門員協会 松阪支部から秦智浩氏、松阪地区訪問看護ステーション協議会から市川千恵子氏に、各団体で考えている災害時の動きを教えてくださいました。災害時の具体的な動きについてシュミレーションし、訓練を継続していくことの大切さを学び、他の職種の考えや動きも知ることが出来る貴重な時間となりました。

参加希望制のグループワークは48名にご参加いただき、異なる職種の方々と意見交換や質問をすることができました。あらためて、

一人でできることには限界があるため、平時から多職種でつながりを持ち、いざという時にも支え合える関係づくりの必要性を実感しました。次回の勉強会は、**R8.夏頃**を予定しています。多職種の皆様のご参加をお待ちしています。



～参加者の方々の感想～

(アンケートより抜粋)

- ・災害時の連携について再度検討し実際にやってみることの大切さを改めて学ぶことが出来ました。
- ・訪問看護ステーションでの取組で利用者宅をハザードマップにマッピングしているとの報告があった。スタッフ自身も訪問先にマッピングをしていくとのこと。どこにいるのかが一目で把握できるようにしているとのこと。また、サービス利用者自身の意識づけも大切だということ。避難所はどこなのか、どのような場所なのか、自分自身の薬を5日分くらいは備えておくことなどなど、訪問時などに確認しているといわれていた。自助を支援することも大切だと感じた。
- ・有事の際は指示待ちにならないようBCPの確認見直しをしていきます。
- ・自分一人ではできる事に限りがあるため、連携して複数人で対応することが必要であると言うことを改めて実感しました。そのためには、出来るだけ多くの方と普段からコミュニケーションをとり、有事の際に対応できる人脈を築いておきたいです。

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点の活動について

連携拠点のお仕事についてご紹介します

2018年4月、地域の在宅医療・介護を支える専門職の方々を支援する目的で開設されました。

4つの柱を中心に活動しています。

- 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- 情報共有の支援
- 地域の医療・介護の資源の把握
- 医療・介護関係者の研修



医療・介護関係者の研修

多職種勉強会を年2回開催しています。地域の医療・介護関係者の連携促進と、現場で活用できる勉強会の開催を目指しています。

《過去の多職種勉強会》

- ・第21回多職種勉強会（R7.2.20 オンライン開催）
「看取りを含めた「終末期」を考える」
- ・第22回多職種勉強会（R7.8.8 オンライン開催）
「コロナ禍以降、病院と在宅の連携は衰退したのか？
－松阪地域における連携/協働の在り方の再考－」

※勉強会の案内、過去の勉強会のまとめは、情報共有システム「すずの輪」に掲載しています。

情報掲載場所

情報共有システム「すずの輪」
トップページ>コミュニティ>
★松阪地域 在宅医療・介護連携拠点さん
>多職種勉強会



日々のお仕事に役立つ勉強会の内容になってます。
多職種のみなさまのご参加をお待ちしています。

連携拠点からのお知らせ

すずの輪ID 退職・異動の手続きはお済みですか？

情報共有システム『すずの輪』について、退職や異動等があった場合は、**ID停止や所属変更の手続きが必要になります。**申請書(Excel)へ必要事項を入力の上、申請フォームより申請をお願いします。

すずの輪 利用者(患者部屋)で連携する方へ

退職・異動や利用サービスの停止に伴い、利用者(患者)部屋で連携する必要がなくなった方は、お部屋から退出する手続きが必要となります。この手続きを「システム使用者の変更手続き」と言い、お部屋の作成者に手続きをお願いします(様式6)。お部屋から退出する場合は、お部屋の作成者に退出したい旨お伝えください。

ご不明な点がございましたら、連携拠点までご連絡ください。

各種申請については以下からご覧ください

情報共有システム すずの輪
トップページ>コミュニティ>★松阪地域 在宅医療・介護連携拠点さん
>NEW!各種申請はこちら



すずの輪 掲載情報を更新しました

施設や在宅医療の情報をお探しの際はぜひご覧ください。

※利用者(患者)様、その家族への配布はお控えください

掲載場所★松阪地域 在宅医療・介護連携拠点さん>資源リスト・地図



在宅医療情報



「高齢者の住まい」に関する情報一覧

あとがき
「高齢者の住まい」に関する情報一覧、在宅医療における医療機関の機能調査は、毎年更新を行っています。その他にも、すずの輪には日々の業務に役立つ情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点

〒515-0076 松阪市白粉町363番地

(松阪地区医師会館1階)

TEL:0598-25-3070 FAX:0598-25-3071

メール:ks-shien@city.matsusaka.mie.jp

◇月～金 9:30～16:00◇

(祝日・年末年始を除く)